

奄美・沖縄航路の拠点機能の強化 ～鹿児島港新港区～

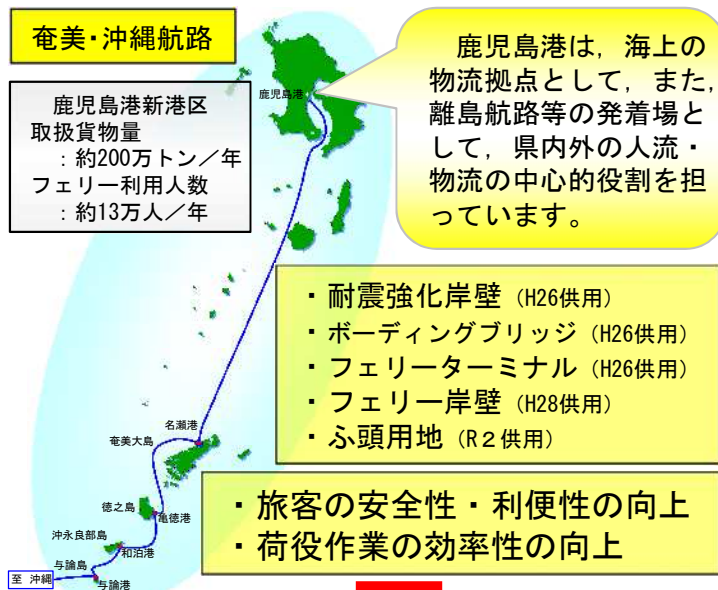
鹿児島港新港区の整備

奄美・沖縄航路の拠点機能の強化を目的に、平成23年度から進めてきた鹿児島港新港区の整備が、令和2年6月末に完了しました。

これにより、旅客の安全性・利便性や荷役作業の効率性の向上が図られ、世界自然遺産に登録された奄美大島・徳之島を含む奄美群島の観光、産業の振興に大きく寄与することが期待されます。



整備前の課題：昭和40年代に整備されてから40年以上が経過し、建物や岸壁の老朽化が進むとともに荷役作業のスペースが不足



旅客の安全性・利便性の向上



ボーディングブリッジを整備



荷役作業の効率性の向上



ふ頭用地の埋立



※県観光統計「奄美群島の入込・入城客数」より

奄美群島の観光、産業の振興

